

上陸式鉄橋セット(緑) 説明書

Deck Bridge Set (green)

このたびはトミックス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前にこの説明書をよくお読みのうえ、取り扱いには十分注意してお楽しみください。
また、別売のトミックス総合ガイド(カタログ)では、各製品を紹介していますので、あわせてお読みいただくことをおすすめいたします。

⚠ 注意 (かならずお読みください)

- 商品特性上、この商品は15歳未満のお子様には適しません。15歳未満のお子様の場合は、保護者のもとでお遊びください。
- この商品には小さな部品が使われており、誤って飲み込むと思わぬ事故の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。

- レールの先端などは機能上尖った部分があります。誤ってケガなどのないよう、取り扱いには注意してください。
- レール間をショートさせないでください。パワーユニットなどが発熱する恐れがあります。
- 加工組み立ての際に出たクズは、すぐに捨ててください。

※この説明書は必ず保管しておいてください。

取り扱い上のご注意

1. 取り扱いには、ていねいに行なってください。
2. 高温の場所(直射日光が当たるところ、暖房器具の近くなど)に長時間放置しないでください。変形する可能性があります。また、シンナーなどの薬品にもご注意ください。
3. 刃物などの工具を使用する際は、ケガなどの無いよう十分ご注意ください。
4. レールの着脱は水平に行なってください。ひねったりしないようご注意ください。無理な角度での引き抜きや差し込みを繰り返しますと、ジョイナーなどレール先端をいためます。

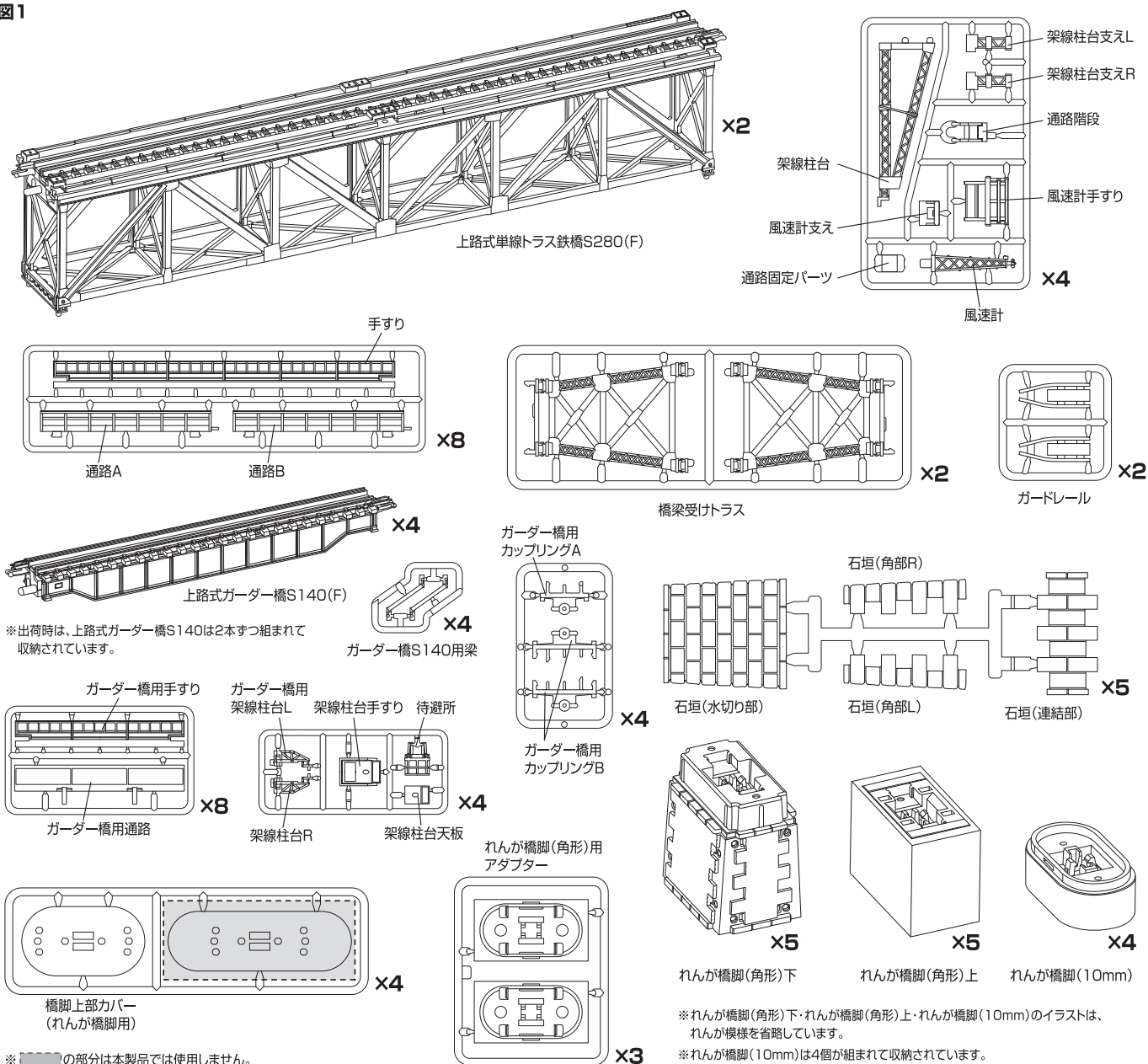
5. 運転する前にはレールが確実に接続されているか確認してください。もし接続したレールどうしに段差がありますと車両が脱線するばかりか、レールを早くいためることになります。
6. レールの通電機能を良好に保つため、こまめにすべてのレールを別売のトミックスレールクリーナーなどでみがいた後、乾布きしてください。特に油などを付けないようご注意ください。

お客様が独自でお考えのレイアウトに関するご質問にはお答えできませんので、ご了承ください。

●セット内容

本製品は、以下のセット内容となっています。ランナーに付いている部品はニッパーなどでランナーの根元からていねいに切りはなし、説明にしたがって取り付けてください。なお、刃物などの工具を使用する際は、ケガなどの無いよう十分ご注意ください。

図1



●レールの先端について

本製品のレールはジョイナーとガイドにより、レールどうしの接続が確実にできるようになっています。各項目を参考にしてお取り扱いください。

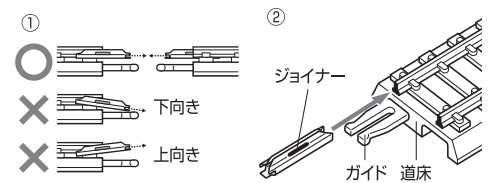
①レールを接続する場合は、ジョイナーの向きを水平にしてください。

②ジョイナーがはずれた場合は、ジョイナーの向きに注意して取り付けてください。尖った部分などでケガなどないように注意してください。

●交換用パーツリスト

ジョイナー	O110
-------	------

図2



●レイアウト例

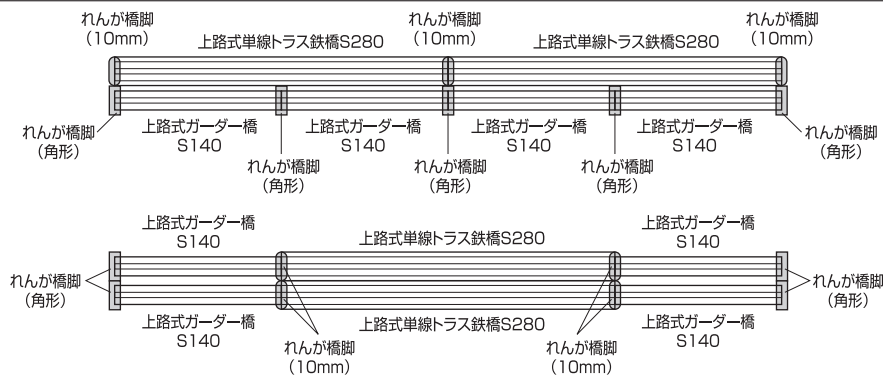
図3は、本製品を使用してできるレイアウトの一例です。 ※上路式単線トラス鉄橋は、ワイドレール用築堤を直接つなぐことはできません。

図3

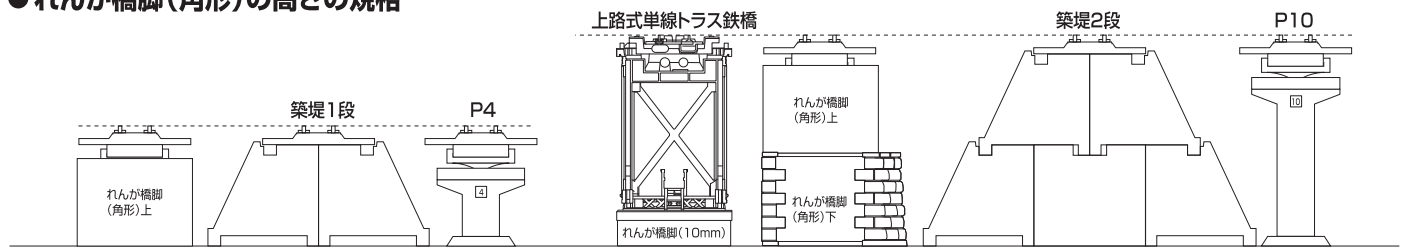
■単線



■複線



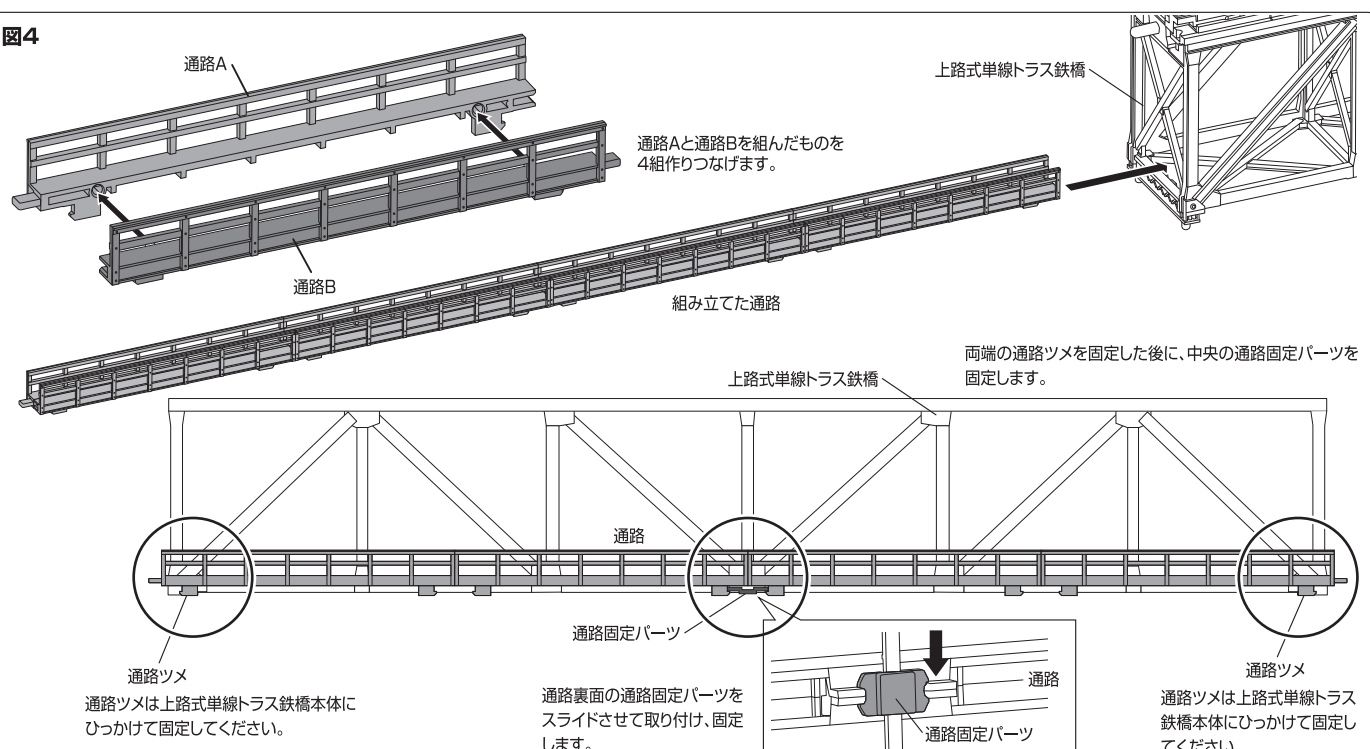
●レンガ橋脚（角形）の高さの規格



上路式単線トラス鉄橋S280の組み立て

●通路の組み立てと取り付け方 通路を取り付ける場合は、図4を参考に組み立て、上路式単線トラス鉄橋内部に取り付けてください。

図4



●手すりの取り付け方

手すりは図5を参考にお好みで取り付けてください。また、別売の〈3080〉ワイドレール用壁S140(3種×8枚入)(成形色:グレー)の手すりや側壁を取り付けることも可能です。

図5

■ 取り付け方

1. 鉄橋本体と手すりの端をあわせて、手すりの端付近のツメを鉄橋側面にはめこみます。

2. 片方の手で端部を押さえ、もう片方の指を端付近からスライドさせて、手すりを取り付けます。

■ 取りはずし方

手すりの上部を持ち、下のイラストを参考に取り外します。

■ 取り付け位置

手すりを片側につき2枚ずつ使用します。

●風速計の組み立てと取り付け方

風速計を使用する場合は、図6を参考に組み立て、上路式単線トラス鉄橋の側面にある取り付け穴に差し込みます。
※風速計を取り付ける場合は図5の手すりを取り付けてください。

図6

風速計は、風速計手すり
と風速計支えを組んでから
取り付けてください。
風速計は90度向きを変
えて取り付けることも可
能です。お好みで取り付
けてください。

●橋脚上部カバーの取り付け

上路式単線トラス鉄橋を橋脚に取り付ける際は、橋脚上部カバーが必要です。図7を参考に取り付けてください。

図7

●上路式単線トラス鉄橋と橋脚の組み立て

組み立てた上路式単線トラス鉄橋を橋脚に取り付ける際は、図8を参考に①～②または①～③の手順で取り付けてください。
※架線柱を取り付ける場合は、レールを接続する前に取り付けする必要があります。詳しくは図15を参照してください。

図8

■ 上路式単線トラス鉄橋どうしを接続する場合

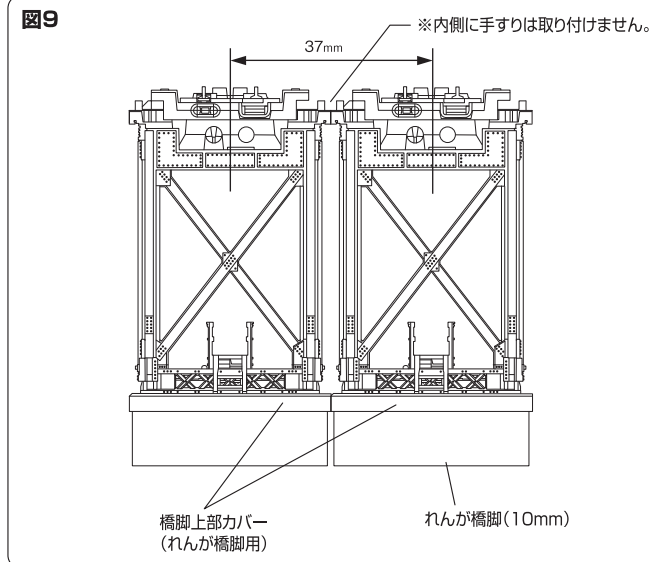
※上路式単線トラス鉄橋どうしを連結する場合は
橋梁受けトラス、通路階段は取り付けません。

■ 上路式単線トラス鉄橋と他のレールを接続する場合

※通路階段は、橋梁受けトラスを取り付ける前に、取り付けてください。
※他のレールを接続する際は図13も参照してください。

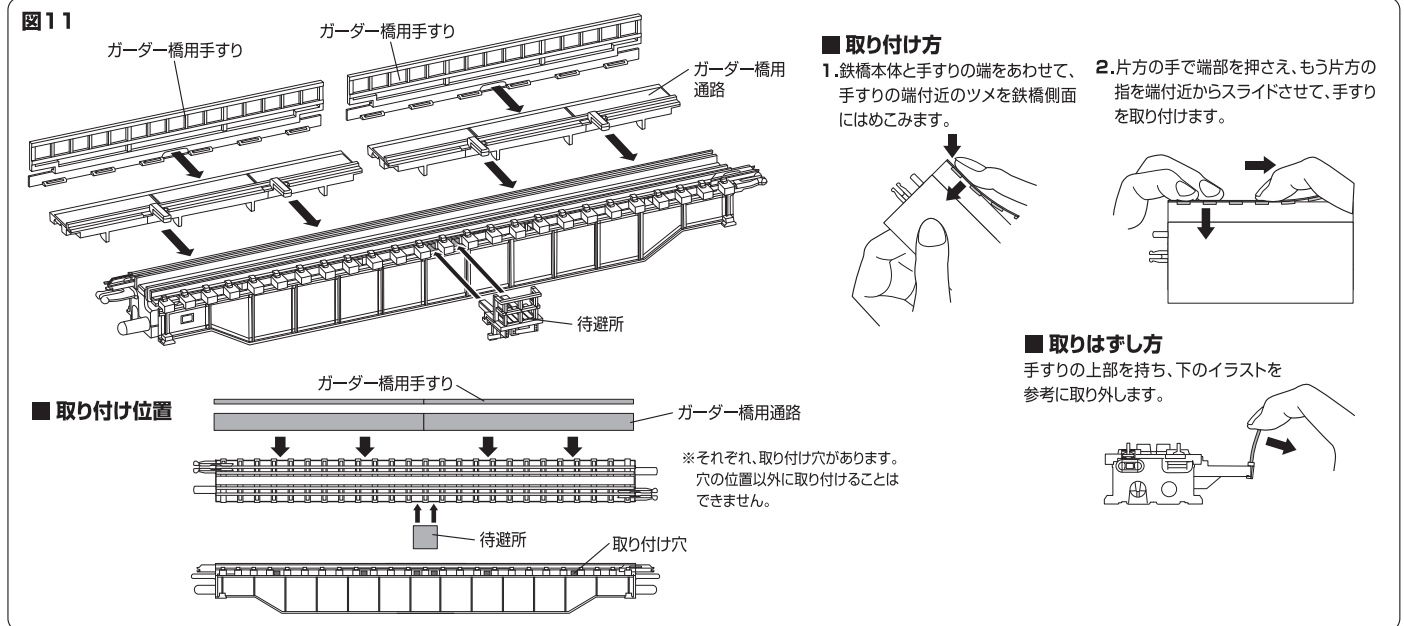
●上路式単線トラス鉄橋を複線で使用する場合

複線とする場合は図9を参考に組み合わせます。



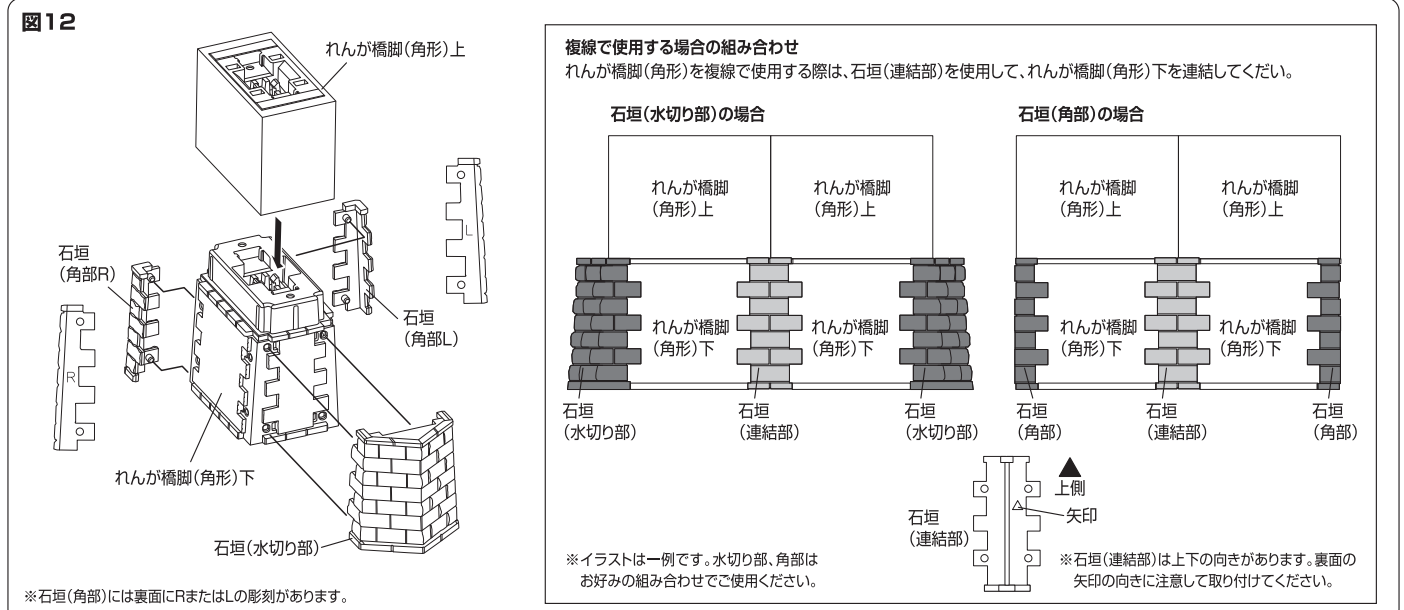
●ガーダー橋用手すり・通路・待避所の取り付け方

各パーツは図11のように取り付けることが可能です。また、通路には別売の〈3080〉ワイドレール用壁S140(3種×8枚入)(成形色:グレー)の手すりや側壁を取り付けることも可能です。



●れんが橋脚(角形)の組み立てについて

れんが橋脚(角形)は図12を参考に組み立ててください。

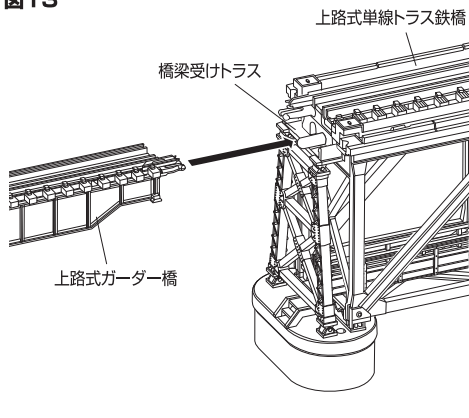


●上路式単線トラス鉄橋とその他レールの接続

上路式ガーダー橋は、図13を参考に橋梁受けトラスにのせるようにして接続してください。

※イラストは上路式ガーダー橋の場合ですが、他のレールも基本的に同じです。
※上路式単線トラス鉄橋は、ワイドレール用築堤に直接接続することはできません。

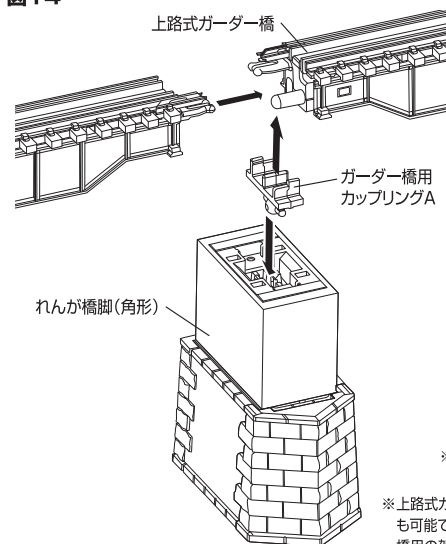
図13



●上路式ガーダー橋と橋脚の組み立て

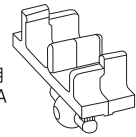
組み立てた上路式ガーダー橋をれんが橋脚(角形)に取り付ける際は、図14を参考に取り付けてください。

図14

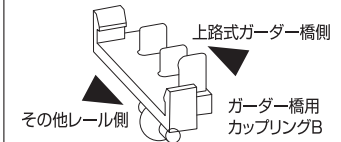


■上路式ガーダー橋どうしの接続時に使用

ガーダー橋用
カップリングA



■上路式ガーダー橋とその他レールなどをつなぐ際に使用



※架線柱台を取り付ける場合は、カップリングAを使用します。詳しくは図16も参照してください。

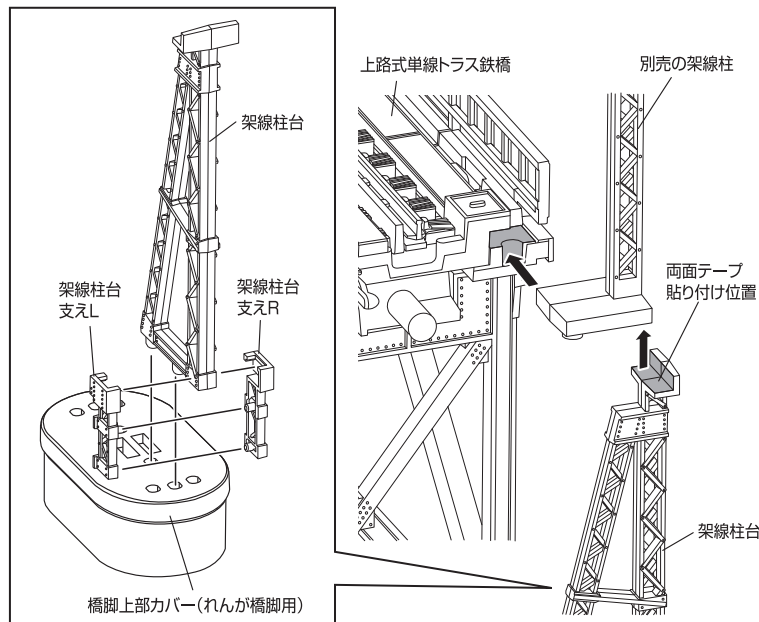
※上路式ガーダー橋は通常のカップリングを使って橋脚に設置することも可能です。ただし、通常のカップリングに取り付けた場合はガーダー橋用の架線柱台は取り付けできません。図16-1も参照ください。

●上路式トラス鉄橋の架線柱台の使い方について

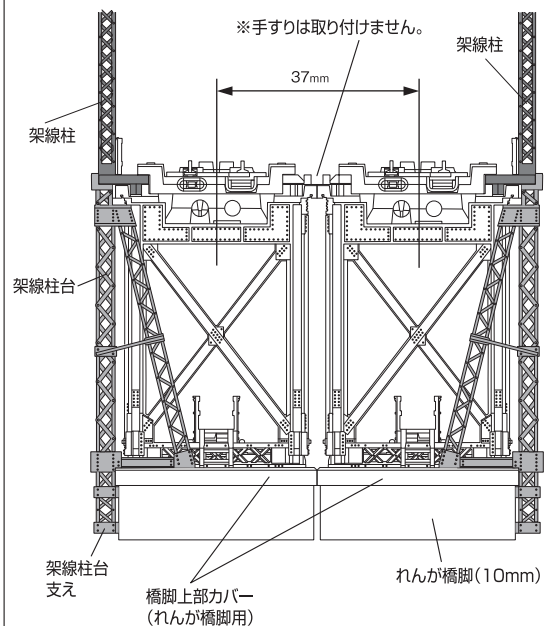
本製品は別売の各種架線柱を取り付けることが可能です。図15を参考に取り付けてください。 ※架線柱を取り付けない場合は使用しません。

図15

架線柱は構造上、上路式単線トラス鉄橋どうしや他のレールと接続する前に、上路式単線トラス鉄橋の指定位置に取り付けてから、架線柱を挟み込むようにレールを接続してください。レールを接続後に架線柱を取り付けることはできません。
※架線柱と架線柱台がずれてしまう場合は、お好みで両面テープなどで固定してください。
※接続するレール側が架線柱の取り付けに対応していない場合は、架線柱は取り付けすることはできません。



■複線で使用する場合



※イラストは架線柱台と別売の架線柱も取り付けした場合です。

●上路式ガーダー橋の架線柱台の使い方について

上路式ガーダー橋には別売の各種架線柱を取り付けることが可能です。その際に架線柱台や通路が必要です。図16を参考に取り付けてください。

※架線柱を取り付けない場合は使用しません。

図16-1 架線柱台は構造上、レールを接続する前に指定位置に取り付けます。架線柱台を挟み込むようにレールを接続してください。レールを接続後に架線柱台を取り付けることはできません。

架線柱台は上路式ガーダー橋どうしを接続する場合のみ、取り付けることが可能です。上路式ガーダー橋と他のレールを接続する場合は、図16-2を参考に通路に取り付けます。

■架線柱台を使って架線柱を取り付ける場合

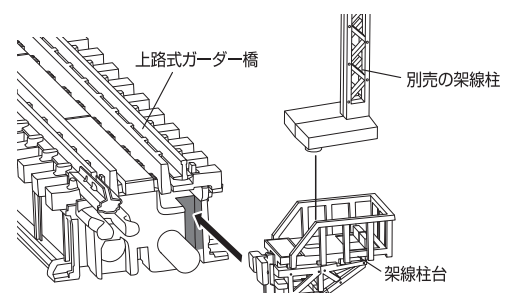
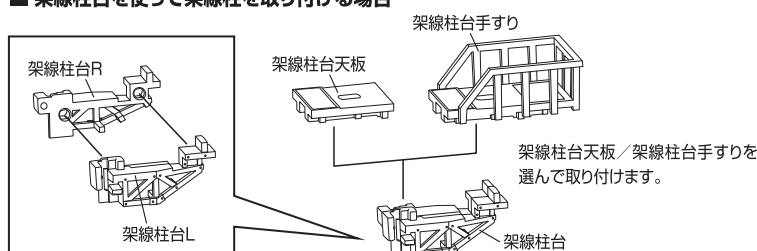


図16-2

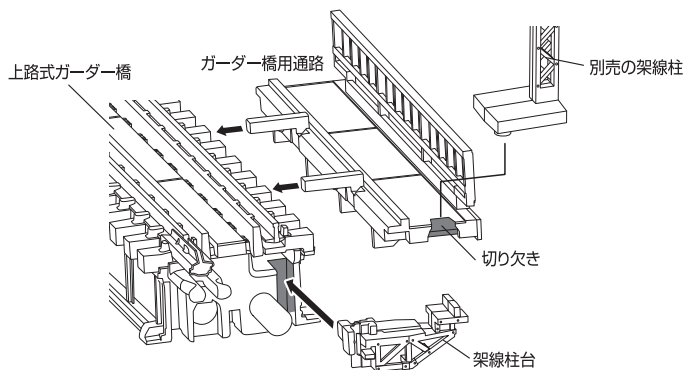
■ 通路と架線柱台を組み合わせて、架線柱を取り付ける場合

通路を使用する場合、通路裏面の切り欠きをカットする必要があります。
上路式ガード橋どうしを接続する場合には、通路の下に架線柱台を取り付けることが可能です。

※架線柱台には、架線柱天板、架線柱台手すり取り付けません。



切り欠き
カットが必要です。



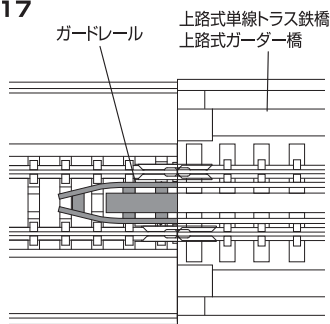
● ガードレールについて

ガードレールはお好みで上路式単線トラス鉄橋や上路式ガード橋につなげるレールに設置してください。

ガードレールは、車両に接触しないように、両面テープなどを使用してレール上面より上に飛び出さないように固定してください。

※C243未満のカーブレールには取り付けすることはできません。
※車輪に接触する場合がありますので、ガードレールをランナーより切り取る際ははていねいにカットしてください。
※ポイントレールなど一部のレールには取り付けすることはできません。

図17

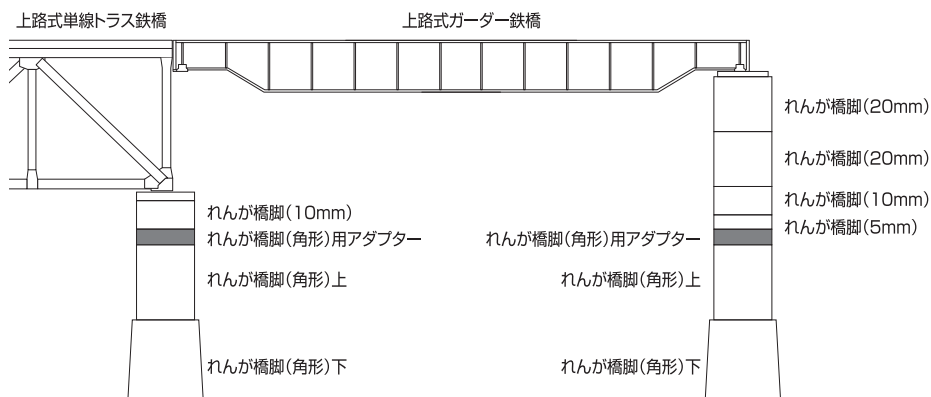
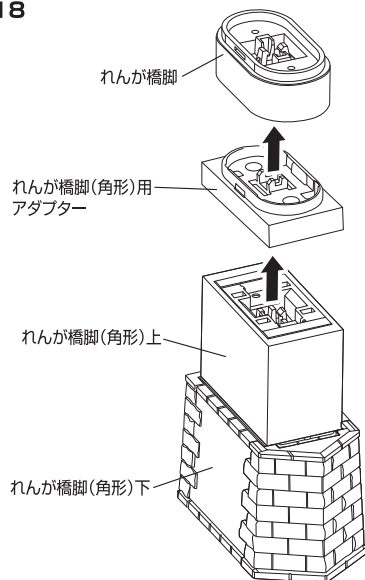


● れんが橋脚(角形)用アダプターについて

れんが橋脚(角形)はアダプターと、別売の橋脚を使用することで、高さを変更することが可能です。

別売のれんが橋脚、れんが橋脚(角形)が必要になります。

図18



※イラストの組み合わせは一例です。

※イラスト・写真などは製品と一部異なる場合があります。

修理が必要な場合、あるいは故障箇所が不明なときは、お買い上げ店にご相談ください。また、トミーテックへお問い合わせの場合には、**トミーテックお客様相談室 トミックス係TEL:03-3695-3161(代)までご連絡ください。**

電話受付 月～金曜日(祝・休日を除く)10～17時

TOMYTEC 発売元
株式会社トミーテック
〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10

本製品のお客様サポートは日本国内での購入かつ日本国内からのお問い合わせに限りです。
(Customer service is only available in case this product purchased in Japan and inquired from Japan domestic.)

2025/12 更新版